

大野市における 地方創生の取り組み

令和3年7月16日
大野市長 石山 志保



武家屋敷旧田村家



九頭竜湖の紅葉

人口	32,083人
面積	872.43km ² (市域の約9割が森林)
主な名所	名水百選 御清水 (おしょうず) 日本百名山 荒島岳 続日本100名城 越前大野城
ブランド・ キャッチコピー	ゆい くに 結の故郷 越前おおの



御清水



荒島岳



天空の城 越前大野城

第1期 大野市総合戦略における取り組み

(平成27年度～令和2年度)

第五次 大野市総合計画
(平成23年度～令和2年度)

安定した雇用の創出

- ・大野市富田産業団地(約12ha)の整備
- ・働く人にやさしい企業への支援、定住して働く若者への支援、女性の起業への支援



結婚・出産・子育ての希望をかなえる

- ・応援券交付による子育て世帯への支援
- ・婚活イベントやセミナーによる結婚への支援



人口減少対策
・地方創生

新しいひとの流れをつくる

- ・「天空の城 越前大野城」の積極的な売り込み
- ・「大野へかえろう事業」による若者の地元への愛着促進
- ・移住定住のための助成事業、移住体験プログラム提供



大野ポスター展



時代に合った地域づくり

- ・特色ある地域づくり活動への支援
- ・「水への恩返し Carrying Water Project」 「水の聖地」を目指した市民や企業との協働



市民と市職員が
手作りで作成

新たな課題や時代への対応

- ◇新しい道の駅を最大限に活用した地域活性化
- ◇産業団地などへの企業誘致の推進
- ◇地方回帰の流れを捉えた移住施策の展開
- ◇多様なニーズに対応できる子育てサービス
- ◇高齢者も健康で暮らせる安全安心な地域づくり
- ◇公民館を核とした住民主体の地域づくり

中部縦貫自動車道県内全線開通、北陸新幹線福井・敦賀開業など高速交通網の整備を見据えた取り組み

SDGs、デジタル化、ニューノーマルなど新時代への対応



令和3年2月策定

令和3年2月策定

第2期 大野市総合戦略

(令和3年度～令和7年度)

国

第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略

第2期 総合戦略における取り組み (令和3年度)

3つの重点プロジェクトを強力に推進 UPI

稼ぐ力の向上

1. 高速交通アクションプログラムの推進

- 道の駅「越前おおの 荒島の郷」、「日本一きれいな星空」「産業ブランド力向上計画」を活かした稼ぐ力の向上



道の駅「越前おおの 荒島の郷」開駅



R5年度までの星空保護区の認定を目指す



健康寿命延伸・医療費削減

2. 健康のまちづくり

- 「歩くことから始める健康づくり」の実施 (県外3市町との連携による地方創生推進交付金事業)



子育て支援の充実

3. 大野ですくすく子育て応援パッケージ

- 子どものライフステージに応じた様々な支援策をパッケージ化
- 教育委員会に福祉行政を集約化



● 脱炭素の取り組み



ゼロカーボン
シティ宣言 R3.3.25



サトイモの生分解性マルチの利用促進

● デジタル化



庁内のペーパーレス化

● 地域づくり



公民館を核とした地域の課題解決

課題 民間活力による「まち・ひと・しごと」づくり

- 金融機関と連携した地域活性化
- 企業版ふるさと納税の活用

新たな施策パッケージ

- 移住定住の促進
- 地域づくり
- デジタル化
- 脱炭素
- 高齢者の安心・生きがい



いきいきシニア安心パッケージ

市民や団体、企業、行政が力を結集して、**将来にわたり持続可能なまちづくり**を目指します